

平成26年2月 定例委員会々議録

1 日 時 平成26年2月24日(月) 午後1時30分～

2 開催場所 会議室301

3 出席委員の氏名

| | | | |
|-----|------|----------|------|
| 委員長 | 齋藤和夫 | 委員長職務代理者 | 黒川優子 |
| 委員 | 山崎克弥 | 委員 | 中野信男 |
| 委員 | 秦久美子 | 教育長 | 上原洋一 |

4 欠席委員の氏名 なし

5 説明のため出席した職員

| | | | |
|--------|------|------------|------|
| 教育次長 | 金子彰男 | 主幹 | 村山幸一 |
| 学校教育課長 | 山田公一 | 子育て支援課長 | 伊藤謙治 |
| 生涯学習課長 | 服部雅之 | スポーツ推進課長補佐 | 川本修 |

6 本委員会書記

学校教育課主事 星野 明日香

7 傍聴人

三條新聞社

8 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄付報告
- (4) 共催・後援の教育長専決報告

協議題

- (1) 新規後援申請

議 案

- 議案第 2 号 燕市立学校の学区に関する規則の一部改正について
- 議案第 3 号 燕市保育園条例施行規則の一部改正について
- 議案第 4 号 燕市病児・病後児保育事業実施要綱の制定について
- 議案第 5 号 燕市保育園延長保育事業実施要綱の一部改正について
- 議案第 6 号 燕市なかまの会要綱の一部改正について
- 議案第 7 号 燕市地域子育て支援事業実施要綱の一部改正について
- 議案第 8 号 燕市児童館及び児童クラブ嘱託員の勤務条件に関する要綱の一部改正について

そ の 他

- (1) 平成 26 年度 当初予算概要について
- (2) 平成 25 年度 燕市教育行政評価結果報告について
- (3) 平成 26 年度 定例教育委員会開催予定表について

会議録 別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午後1時30分

2. 会議録署名委員の指名 中野 信男 委 員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について

《各課長が報告》

(2) 教育長報告

〈上原洋一教育長が報告〉

● はじめに

- 大学入試センター試験（1/18,19）の全国平均点が2月6日発表。新潟県は校長協会が集計した平均と比較すると、政治・経済、倫理以外は全国より低かった。特に数学ⅠAで4.68点、ⅡBで5.84点と全科目中最も差がついた。算数数学の学習重要性痛感。
- 2月2日良寛書道展表彰式。レベル高い作品に感動。小学校2389、中学校759応募。5年間で最大。
- 2月22日 Jack&Betty プロジェクト親善大使として12人の中学生がサンフランシスコに向け出発した。16日の出発式で12人が抱負を語ってくれたが、現地での活躍に期待。3月21日報告会を予定している。

● 平成26年度の組織体制と当初予算

- 組織体制 スポーツ推進課を室にし、生涯学習課内に含め生涯学習課を社会教育課とする。学校教育関係の人員変更について、割愛指導主事1人増（5人に）、学習支援員（旧学習指導補助員）2人減（22人に）、図書館司書業務補助員（新規で2人）。
- 先週2月20日（木）、鈴木市長が平成26年度の当初予算概要を記者発表した。一般会計予算の規模は385億3,700万円、対前年度比プラス33億1,800万円（+9.4%）に。借換債を除いた実質的な一般会計予算規模は、357億5,831万円、前年比プラス32億4,415万円（+10.0%）に。
- 歳出における教育委員会の予算は、84億3,560万円（H25：64億9,500万円）で、全予算に占める割合は21.9%（18.4%）である。予算の中身については、各課長より説明するが、各課の主な事業だけ列記する。
- [学校教育課] 吉田小学校改築（体育館）、小池中学校特別棟設計委託、西部学校給食センター改築、Jack&Betty プロジェクト拡充（イングリッシュキャンプ追加）、教職員用PC/校務支援整備、ICT教育推進（ICT活用普及促進協議会）、米国ダンディ村受入（中学生4人）、長善館学習塾拡充（宿泊体験3泊4日に）、燕キャプテンミーティング（中

学部活動キャプテン対象リーダー講習会)、学校図書館充実(管理システム、業務補助員)、学習支援充実(旧学習指導補助業務に ICT 授業支援業務を追加)、中学校学力向上対策(拡充、英語国語も)、科学教育推進(科学教育センター運営)

- [子育て支援課] 病児・病後児保育、吉田西太田保育園増改築、仮称燕西こども園設計委託
- [生涯学習課] 吉田公民館耐震改修、文化会館改修
- [スポーツ推進課] 体育施設指定管理スタート、吉田総合体育館耐震改修、東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流

● **学力向上対策中学数学プロジェクト会議(1月24日)及び公開授業(2月20日吉田中学校)**

- 1月24日県庁で第3回が実施され、市内5中学校からも参加した。県と市の取り組み発表の他、各校の先生方から、学力が向上しつつあることや教員同士の連携が成果など実感のこもった感想意見が披露された
- 2月20日には吉田中学校で公開授業があり、あわせて県立教育センター西村健一指導主事から講演していただいた。市内中学校数学教員をはじめ小学校、管理職等併せて約50人が参加した。

● **第1回つばめっ子カルタ大会(1月25日)**

- 1月25日燕市体育センターにて開催。15小学校から40チーム120人参加いただき感謝。未来の燕を担う人材の育成、燕の歴史文化を楽しく学び故郷への誇り愛着を育むため継続したい。

● **燕市奨学金**

- 1月29日市議会で条例改正。他の奨学金と併用可能とした。高校、中等後期課程、特支高等部も対象。

● **学校・施設訪問等(給食センター、燕南小食育、燕東小感謝のつどい、吉田中ものづくり、燕中剣道部、分水小)**

- 分水給食センター(1/21,2/18)、吉田給食センター(1/22)訪問して調理員の皆さんに感謝しつつ試食。1月21日は報道も同席し質の高さメニューの豊かさに驚いていた。また、燕南小(1/21)は、長岡ヤクルトから講師を招き食育授業を実施した。外部人材活用による早寝早起き朝御飯、栄養バランスについての講話を6年生が聴講した。燕東小の給食感謝のつどい(1/23)ではスプーン製作に御苦勞いただいた広瀬金属の広瀬昇社長、ニシムラの西村康雄社長に感謝状を贈呈した後、6年生と試食していただいた。

- 燕中剣道部女子市長表敬訪問（1/15）年末年始にかけて志沢旗（神奈川）、若鷺旗（兵庫県）、鷹揚旗（青森）と3つの全国大会で優勝。小川梨々香さん「夢は必ずかなうと信じ来年度に向け頑張る」。
- 吉田中「創造ものづくり教育フェア」全国大会 4位相当の特許庁長官賞。早川君宮路君 1/27 報告。
- 分水小（2/18）の2,5年生算数授業参観。

○委員（中野 信男）

新年度学校教育関係の組織体制の人員変更について、先生方が子どもたちに教えやすい環境を整える配慮は欠かせないと思う。しかし、学習支援員の役割がよくわからないため、我々に教えていただく機会と、直接話し合いのできる場を設けて欲しいと考えている。

○委員長（齋藤 和夫）

良い提案である。事務局は前向きに検討していただきたい。

○教育長（上原 洋一）

平成26年度は、学習支援員の仕事の様子の視察及び、教育委員との懇談の機会を設けさせていただきたい。

○委員長（齋藤 和夫）

1月25日に行われた、つばめっ子カルタ大会は、吉田良寛会主催の良寛かるたの大会と日程が重なったので、次年度は日程を調整していただきたい。

○生涯学習課長（服部 雅之）

来年度の日程調整には、十分注意して、実施日を決定させていただきたい。

(3) 寄附報告

《山田学校教育課長が1件の寄附報告について説明》

(4) 共催・後援の教育長専決報告

《山田学校教育課長が2件の継続後援申請について説明》

4. 協議題

(1) 新規後援申請について

《山田学校教育課長が1件の新規後援事業について説明》

審議の結果、全員異議なく承認された。

5. 議案

議案第2号 燕市立学校の学区に関する規則の一部改正について

《山田学校教育課長が説明》

審議の結果、全員異議なく承認された。

議案第3号 燕市保育園条例施行規則の一部改正について

《伊藤子育て支援課長が説明》

審議の結果、全員異議なく承認された。

議案第4号 燕市病児・病後児保育事業実施要綱の制定について

《伊藤子育て支援課長が説明》

○委員（黒川 優子）

実施要綱や利用料金などは、近隣市町村の状況を参考にして設定したのか。

○子育て支援課長（伊藤 謙治）

利用料金については、県内先進的の自治体を参考にして決定した。法的拘束力はないが、国が示した、1日の利用料金2,000円の範囲内で、各自治体で設定している。燕市は1日の利用料金を2,000円で設定した。

○委員長（齋藤 和夫）

県内で病児・病後児保育事業を実施している自治体は、どこになるのか。

○子育て支援課長（伊藤 謙治）

新潟市、上越市、柏崎市、新発田市で実施しており、平成26年度見附市が新たに開設する予定である。県央地域では燕市が初めての取り組みとなる。

審議の結果、全員異議なく承認された。

議案第 5 号 燕市保育園延長保育事業実施要綱の一部改正について

《伊藤子育て支援課長が説明》

審議の結果、全員異議なく承認された。

議案第 6 号 燕市なかまの会要綱の一部改正について

《伊藤子育て支援課長が説明》

審議の結果、全員異議なく承認された。

議案第 7 号 燕市地域子育て支援事業実施要綱の一部改正について

《伊藤子育て支援課長が説明》

審議の結果、全員異議なく承認された。

議案第 8 号 燕市児童館及び児童クラブ嘱託員の勤務条件に関する要綱の一部改正について

《伊藤子育て支援課長が説明》

○委員（黒川 優子）

分水児童館長と児童研修館長の金額の差は、勤務の拘束時間の長短だったかと記憶しているが、報酬額の減額は拘束時間が短くなるということで間違いなのか。

○子育て支援課長（伊藤 謙治）

拘束時間の長短ではない。当初児童研修館は青少年健全育成としての施設で、国の補助金で建設した。これを市内の児童館と一緒にさせていただくように条例を改正した経緯があるが、嘱託員の報酬は、合併前はそれぞれの市町で開きがあり、これを合併と同時に調整することがむずかしかった。

児童研修館は児童館として 1 つの事業を持っているが、分水児童館は、児童館の他に子育て支援センター・児童クラブの 3 つの事業を持っている。事業量の差もあるため一概に比較はできないが、この 4 月に指導員の配置変更もあるため、これを契機に統一させていただくということをお願いしたい。

審議の結果、全員異議なく承認された。

6. その他

(1) 平成 26 年度当初予算概要について

《各課長が報告》

○委員（中野 信男）

中学校学力向上対策プロジェクトは国語と英語も盛り込むのか。

○学校教育課長（山田 公一）

数学・国語・英語の 3 教科である。

○委員（中野 信男）

学校図書館充実事業の蔵書管理システムは、各学校がオンラインでつながるのか。

○学校教育課長（山田 公一）

将来的にはつなげられるシステムと考えているが、今のところは単独で運用する方向である。

○委員（中野 信男）

つながれば、管理システムで検索すると、各学校の所蔵状況がわかるということか。

○学校教育課長（山田 公一）

蔵書状況が分かるシステムと考えている。

○委員（中野 信男）

標準学力検査等の実施の活用方法を教えて欲しい。

○学校教育課長（山田 公一）

全国標準学力検査（NRT）の対象は小 6 と中 3 の国語・算数数学で、数年に一度理科が加わる。毎年年度初めに実施し、欠点を見つけるツールとして分析し、授業改善をして年度末に標準学力検査（CRT）を行うことで、成果を確認している。

○主幹（村山 幸一）

学力分析ということで、経年変化を教育委員会でも行っている。

○委員（中野 信男）

承知した。

○委員（黒川 優子）

病児・病後児保育運営事業について、利用期間が連続した7日以内ということなので、インフルエンザなどが大量に出た場合、たかだ小児科医院の1施設では限界に達するのではないかと。旧吉田庁舎にできる子育て総合センターの1室を間借りする方法等の検討はできないのか。

○子育て支援課長（伊藤 謙治）

たかだ小児科医院は保育面積等を広くとっているため、高田先生と相談し、定員は8名であるが、定員を少し超えたとしても検討してくれるという約束となっている。

ただし、絶対数はカバーできないためお断りすることになることもある。高田先生から今回、病児・病後児保育を断られた際、市直営で子育て総合センターを活用する案も考えたが、病後児以外の対応が難しく、リスクが大きいため小児科医が併設されていることが理想と考えられるため、センターの活用は考えていない。

○委員（黒川 優子）

承知した。

○委員（中野 信男）

文化会館自主事業について、市民目線で考えるともう少しすばらしい事業ができないだろうか。

○生涯学習課長（服部 雅之）

企画は職員で行うが、それを文化会館運営審議会に諮って、次年度の計画を進めさせていただいている。次年度予定している中で、ポップスコンサートは未定であるが、今年度行った秋川雅史レベルの予算を考えている。文化振興事業団との共催事業は県内のアーティストを予定している。また、来月はNoism2 燕講演を予定している。予算内で努力をしていきたいと考えている。

○委員（中野 信男）

定員が少ないため経費があがるということか。

○生涯学習課長（服部 雅之）

コンサートの場合は行政で金額を決めるのではなく、このタレントであればいくらかと

ということなので、席数 680 の文化会館は収入と支出のバランスが難しい。

○委員長（齋藤 和夫）

1,600 以上席数がないと、一流の人を連れて来られないと聞いたことがある。むしろ新潟市や長岡市など近郊で実施していただき、推薦できるものを紹介する方が燕市にとって良い方法ではないかと思われる。

○生涯学習課長（服部 雅之）

今後、検討していきたい。

(2) 平成 25 年度燕市教育行政評価結果報告について

○学校教育課長（山田 公一）

大幅な修正があるため、3 月の定例教育委員会時に再度提示させて欲しい。

(3) 平成 26 年度定例教育委員会開催予定表について

7. 閉 会 午後 3 時 00 分

委員長 齋藤和夫

会議録署名委員

会議録調整者
